



# Weekly Report

2024-25



60<sup>th</sup>  
Anniversary

創立/1965年5月22日  
例会日/毎週木曜日 PM12:30~  
会場/江南商工会館1F 大ホール  
江南市古知野町小金112  
0587-54-8132

事務局/江南商工会館 別館1F  
TEL / 0587-55-6554  
FAX / 0587-59-7720  
URL / <https://www.konan-rc.com>  
Mail / [konanrc@beach.ocn.ne.jp](mailto:konanrc@beach.ocn.ne.jp)  
会長/南村 朋幸 幹事/三輪 慎一郎 会報委員長/横山 史明



2024年(令和6年) 8月 1日(木)晴れ 第2807回(当年度第4回 例会)

点 鐘

会長 南村 朋幸君

司 会

SAA 岩田 静夫君

国歌斉唱

「君が代」

ロータリーソング斉唱

「奉仕の理想」

ソングリーダー 山崎 博征君

四つのテスト斉唱

伊藤 由香君

— 言行はこれに照らしてから —

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長挨拶

会長 南村 朋幸君



皆さん、こんにちは。  
まずは先週の例会は不覚にもコロナに罹ってしまい欠席となってしまったこと、お詫び申し上げます。  
不慮の出来事とは言え年度当初の第3回目の例会に会長・幹事そろって欠席という事態を引き起こしました。正に不徳の致すところでございます。言い訳ではありませんが、今、流行っているコロナウィルス感染症第11波

は、体験した身として言うならば、とても感染力が強いと思います。メンバー皆様にはくれぐれもご注意ください。

さて、本日の会長挨拶は重点目標の四つ目「60名会員数を目指し積極的な会員増強を行う」についてご説明申し上げます。まず、現在の江南クラブの会員数は48名。これを60名にするには12名必要です。12名、確かに一見無謀だと思われるでしょうが、私はそうは思いません。

まず仕掛けとして、目指すべき二つの頂を設けました。

一つは、来月8月29日の会員増強クラブフォーラムとして、山崎委員長のご担当のもとあの有名な「味噌煮込みうどんの山本屋」の社長をお招きし卓話を頂戴します。また、二つ目の頂として、来年1月30日に、「矢場とん」の社長をお招きし、ロータリアンであるご本人のロータリーにまつわるお話を STS 例会として賜ります。まずはこの著名な会社のスピーカーを招くことにより、これをネタに大勢の入会候補者及び検討者にお越し頂きたいと思っています。

また、60名の会員数を目指すということは、何も会員増強だけが手法ではありません。皆さん、ご存知の通り「退会防止」も大きなポイントとなります。

この退会防止の手立ても様々あるのですが、本年度の狙いとしてはやはり「参加しやすい例会環境づくり」に尽きると思います。今、例会になかなか足を運ばないメンバーが現実には居ます。本当に忙しい方が殆どでしょうが、中には、きっかけを失って気持ち的に足が遠のいてしまっている人。また、木曜日のお昼にわざわざ着替えるのが面倒だから、つい足が遠のく、という方もおられるでしょう。

こういった方々を放置しては、そのうち退会という選択をする羽目になります。私は、少しでも出やすい例会を作ることで、足が遠のいている方の掘り起こしに繋がっていきたいのです。そしてこれこそが「退会防止」の大切な手立てだと思っております。

以上、新会員獲得の為の二つの頂作戦、退会防止の為の掘り起こし作戦と二つの作戦でもって何とか目標達成に漕ぎ着けたいと思っています。とは言っても、やはり新規に会員を12名増やすというのは至難の業です。私と山崎委員長だけでは、到底達しえないことではありません。ここにいるお一人お一人のメンバー皆様のご協力が必要です。まずは情報提供を沢山頂けますよう、何卒お願い申し上げます。

さて、次回の会長挨拶は重点目標の五つ目「マイロータリー登録100%の達成」についてお話します。それでは、本日の例会もよろしくお願いいたします

**ゲスト及びビジター紹介**



米山奨学生 カオ リ イエン ニーさん

**幹事報告** -別紙- **幹事** 三輪 慎一郎君

**祝 福** **委員長** 内田 吉信君

**出席報告** **委員** 松野 拓也君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
48名	42名	6名	89.36%

**ニコボックス** **委員** 松野 拓也君

○「江南の 未来のために 行ってきます」  
本日の卓話、宜しくお願い致します。  
南村 朋幸、永田 広光、三輪 慎一郎、北畑 祐二  
各君

○浅野さん、本日は大変お世話になりました。ロータリーの友情に感謝しています。

倉知 正憲君

○地区出向者紹介でお話しさせていただきます。宜しくお願い致します。

古田 嘉且君

○本日、地区出向者自己紹介させていただきます。

片平 博巳君

○8月1日(木)南村年度、地区出向者自己紹介よろしく  
お願い致します。米山奨学生、カオ リ イエン ニーさん、  
ようこそ江南ロータリークラブへ！

松岡一成、庄田元久、杉浦賢二、沢田昌久、岩田静夫、  
長瀬晴義、中村耕司、富田清孝、岩田進市、近藤道磨  
各君

**卓話 「地区出向者自己紹介」**



**ファシリテーター 古田 嘉且君**

ファシリテーターとして、地区へ出向しています古田  
嘉且です。どうぞ宜しくお願いします。

ファシリテーター(Facilitator)には、協働促進者、進  
行促進者、支援者という意味があり、以前は、ディスカ  
ッションリーダー(DL)と呼んでいました。

既にご案内の通り、昨年度からRIは研修に関する名称  
を変更し、研修(training)からラーニングとなりました。  
知識、情報を与えられる受け身の研修から積極的な学  
びへ、コミュニケーションの中に自ら情報収集、スキル  
を獲得することを目指しましょう、となりました。

まず、ロータリー会員がマイロータリーのラーニング  
センターを利用して自習をする。

その自習で、「セミナー(意見交換会)に出席しても困ら  
ないだけの情報・知識」を身につけたうえでセミナーに  
臨みます。

そして、セミナーで講師の話を聞くと、学びも大きくな  
り、今度はそのテーマで、他の参加者と意見交換をし  
ます。そこで、気付きやインスピレーションを得ていきま  
しょう、という流れです。

その意見交換の場で、学習しやすい環境を整え、学習  
しやすいように手助けをするという役割が、ファシリテ  
ーターになります。話し合いを有効なものにするには、フ  
ァシリテーターの役割が重要で、知識と経験が必要に  
なります。

第2760地区では、7月に行われるクラブ活性化セミ  
ナーと会長エレクト研修パートⅠ～Ⅲが、活動の場とな  
ります。

皆様には、色々とお世話になりますが、宜しくお願い  
いたします。



#### 地区社会奉仕委員会 片平 博巳君

地区社会奉仕委員会の環境保全担当副委員長として出向しております。今年で5年目になります。ロータリークラブにおける社会奉仕とは、ロータリアン一人ひとりの個人生活、事業生活、社会生活に「奉仕の理想」(「他人のことを思いやり、他人のために尽くすこと」)を適用する事柄を奨励、育成することです。この「奉仕の理想」の適用を実践する中で、多くのロータリークラブは様々な社会奉仕活動を開発し、会員に奉仕の機会を与えてきました。その機会が多く作れるように手助けするのが地区社会奉仕委員会の役割です。そのための関連情報を各クラブに積極的に提供する場を作り、またその場で出た情報を集約し各クラブへ情報発信して共有することにより、地区内クラブの社会奉仕活動の活性化を進めていきます。そして、各クラブの奉仕活動の内容がロータリアン以外の方々にも伝わるよう公共イメージ向上委員会とも連携を図り発信していきます。また、RFF、地区大会等の地区事業に参加し地区全体を盛り上げていきます。

担当事業としては、一昨年行った「佐久島クリーン大作戦」が好評だったとのことで、インターアクトメンバーの参加を中心に再度行う予定です。講演会も組み入れ、ロータリークラブが行う事業として以下の特徴を持たせたいと考えております。

- 1) 環境汚染の実状を知り根本的対策の必要性を学ぶ。
- 2) 青少年奉仕、国際奉仕、職業奉仕への広がりを持たせる。
- 3) 環境保全と経済振興の両立を目指す発想を持つ。ロータリークラブの行う環境保全活動は、環境保護団体が行う環境保全活動とは一線を画すと考えております。

当クラブから出向させていただいている者として、地区社会奉仕委員会だけでなく、地区全体の運営、活動を経験しながら有益な情報、アイデア、動機付けなど持ち帰り、当クラブの発展、活性化につなげていけるよう努力してまいりたいと思います。よろしくお願いします。



#### 地区防災対策委員会 杵本 哲一君

地区防災対策委員会は歴代委員長に地区幹事経験者を、委員は分区代理もしくは分区幹事が担っています。理由は有事の際、その地域を知り、連絡を取りやすくする為もひとつの理由です。

設立から6年。通常、地震等災害は被災後その名称が決まりますが、未だ発生すらしていないにも関わらず既に名称が決まっている「東南海地震に特化」し各クラブに対し発生メカニズムや防災意識の啓もう活動から始まりました。

また、愛知県が災害にあった場合、その作戦の中心を担うのが陸上自衛隊守山駐屯地である為、有志を募り見学に行き、災害への取組や想定等を勉強してきた事もあります。

昨年度は愛知県庁、豊田市の行政及び、中部電力など企業の防災担当者からその取り組みを学ぶ一年でした。折しも今年元旦に発生した能登大地震発災後、復興特別支援隊として能登に赴いた豊田市及び中部電力の現場の時系列にそった現実的な活動は目を見張るところでした。豊田市の場合、防災対策室長に陸上自衛隊幕僚長OBの再雇用者をあて準備していた点も特筆すべきところでもあります。

本年度の取組は、大規模災害時にロータリー活動を継続する為の事業継続計画(BCP)を策定する上で、地区の役員・委員長・事務局を対象に、誰が動けるのかを確認する為の「安否確認システム」を構築予定ですので、完成後は当クラブにも導入の御検討をお願い申し上げます。



#### 地区ロータリー奉仕委員会 南村 朋幸君

皆様、改めまして卓話をさせていただきます。  
私は、本年度地区ロータリー奉仕委員会に副委員長として出向している南村でございます。  
ここでは誰もが思う疑問を二点お話しさせていただきたいと思えます。

まず一点目、どうして地区の委員会に副委員長として出向くことになったのか問題。  
これは、しがらみ以外の何物でもなく、数年前のある時期にこの委員会の副委員長がなかなか決まらず、当時の委員長が苦慮していた折り、某江南クラブ所属の某バスタガバナーに相談されたそうです。恐らくその某バスタガバナーもいろいろと当たられたとは思いますが、最終的にままならず、最後の砦として自クラブの後輩に打診をし、言われた私は“あもすもなく”快諾せざるを得なかったというのが真相でございます。やはり日本は長幼の序、先輩の言うことは絶対なのですね。

あと、地区に行くクラブの要職と地区の要職をダブルでやって見える方がチラホラいます。これは私の持論なのですが、例えば、クラブの副会長と地区の副委員長、これは両者とも要職とはいえ“副”という役職です。また、クラブでは会長、地区では副委員長というどちらか片方だけ“長”という立場。これもアリだと思います。

しかしながら、クラブが会長で、地区も委員長というパターン、これが一番まずいのではないと思う訳です。いわゆる“長”と“長”が重なるのはマズイと思うのです。そのようなことから、昨年の防災対策委員会の委員長職を任期満了を待たず退任したという訳なのです。

次に二つ目の疑問、それは「地区ロータリー奉仕委員会って何をする委員会なの？」問題です。

この地区ロータリー奉仕委員会とは、ロータリー五大奉仕(クラブ・社会・職業・国際・青少年)のそれぞれ地区委員会を束ねる上部組織です。したがって、私たち副委員長ごとにそれぞれの委員会担当が決まっており、その個別の委員会が行われる際には、当然、出席対象者として出席が義務となります。

ちなみに私の場合、本年度の周年事業を理解された上で、敢えて「国際奉仕委員会」の担当にさせて頂いております。しかしながら、かくいう私ももう既に何回かサボっており、先程の“長”と“副”の関係性から“長”を優先しているだけなのですが、若干肩身の狭い思いをしております。

このように、恐らく地区出向未経験の方にとっては分からないことも多々あるであろうことから、このような機会があるのは、とてもいいことだと思います。出向者卓話プログラムを組んでいただいた波多野プログラム委員長と、何よりこのプログラムを承認いただいた南村会長はじめ執行部の皆様に感謝申し上げまして卓話を締め括りたいと思えます。

ご清聴ありがとうございました。

## 本日の食事



7月30日(火) 南村年度出航祝い&伊藤さん歓迎会 & 山崎くん出店祝い&暑気払い



会長 南村 朋幸君 伊藤 由香君





山崎 博征(ひろゆき)君



### 会報掲示板



My ROTARYの登録はこちら  
※初めての方は  
アカウントを作成してください。  
※アカウントがある方は  
ログインしてご覧ください。



ROTARY 2760  
アプリダウンロードはこちら



江南 RC 会報 YouTube  
チャンネル登録はこちら



写真等ございましたら会報までお知らせください。  
(担当 横山史明)